

平成27年第2回定例教育委員会

平成27年2月25日(水) 午後2時3分

江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員長	長谷川	清	明	説明員	教育部長	齊	藤	俊	彦	
	委員	上	野	聡		志	教育部次長	渡	部	丈	司
	委員	郷		早		見	学校教育支援室長				
	委員	橋	本	幸		子		苺	谷		正
	教育長	月	田	健		二	総務課長	大	村	勇	二
							総務課参事	三	富	一	義
							学校教育課長	伊	藤	忠	信
							学校教育支援室参事				
								浦	田	和	秀
								金	子	武	史
							対雁調理場長	鈴	木	正	春
							生涯学習課長	岩	淵	淑	仁
							情報図書館長	原	田	昭	彦

欠席者	給食センター長	福	井	洋
	生涯学習課主幹	佐	々	木
記録員 傍聴者	総務課総務係長	近	藤	澄
	なし			

1 報告事項

- (1) 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
- (2) 平成26年度江別市青少年文化賞・スポーツ賞及び教育委員会表彰について
- (3) 平成27年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画について

2 審議事項

平成27年議案第5号

江別市立小学校及び中学校通学区域規則の一部を改正する規則の制定について

3 その他

- 各課所管事項について
 - (1) 中学生国際交流事業受入れについて
- 次回教育委員会予定案件について
- 平成27年第3回定例教育委員会の日程について

会 議 録

長谷川委員長

(開会)

それでは、ただいまから、平成27年第2回定例教育委員会を開会いたします。
本日の議事日程は配付のとおりであります。
会議に先立ち、本日の会議録署名人を郷委員さんをお願いいたします。
それでは、議事に入ります。

伊藤学校教育
課長

1の報告事項(1)平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についての報告を求めます。伊藤学校教育課長お願いします。

報告事項(1)平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果についてご説明いたします。

同調査は、文部科学省が平成20年度から始めたもので、平成26年度は4月から7月にかけて、各学校において実施されました。平成26年11月に文部科学省より江別市教育委員会にその集計結果が送付されました。その結果の分析が終わりましたので、ご報告するものであります。

それでは、資料の1ページをご覧ください。

Iの調査の概要です。まず、1の調査の目的ですが、子どもの体力が低下している状況にかんがみ、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てるものであります。

次に、2の調査対象学年は、小学校5年生と中学校2年生であります。

3の調査の内容は、①児童生徒に対する調査として、アの実技に関する調査と、イの質問紙調査があり、さらに②学校に対する質問紙調査があります。

①児童生徒に対する調査のうち、アの実技に関する調査は記載の8種目ではありますが、中学校においては持久走か、20メートルシャトルランのどちらかを選択して実施することとなります。

4の調査期間及び5の参加状況は、記載のとおりであります。江別市内の公立小中学校は全校で実施しております。

次に、2ページをご覧ください。用語の解説でありますので、説明を省略いたします。

次に、3ページをご覧ください。体格と肥満度に関する調査の結果であります。一番上の四角で囲まれた部分は、全国平均と江別市平均との比較や、前年度の江別の平均との比較などを記載したものであります。

真ん中の表は男子の結果、下段の表は女子の結果であります。

表の左から2番目は全国の数値、その右が北海道の数値、そのさらに右のH26江別市は今年度の江別市の数値、その右のH25江別市は前年度の江別市の数値であります。

右側のグラフは、左の表の肥満傾向児・痩身傾向児の出現率をグラフにしたものであります。小学5年生の身長・体重、肥満・痩身の傾向は、男子・女子ともに身長・体重、肥満・痩身の傾向は全国と同程度であります。

次に、4ページをご覧ください。中学2年生の体格と肥満度に関する調査の結果であり、中学生においても、男子・女子ともに身長・体重、肥満・痩身の傾向は全国と同程度であります。

次に、実技検査の結果であります。5ページから8ページにかけて、記載しております。

5ページをご覧ください。一番上の四角で囲まれた部分は、全国平均と江別市平均との比較や、前年度の江別の平均との比較などを記載したものであります。

上から2番目の表は実技検査の結果で、表の左から2番目は全国の数値、その右が北海道の数値、その右のH26江別市は今年度の江別市の数値、その右のH25江別市は前年度の江別市の数値であります。

上から2行目の握力から9行目のソフトボール投げは、それぞれの平均値であります。

上から10行目の体力合計点は、上記の8種目の体力テストの成績を1点から10点までに得点化したものの合計したものであります。

その下の総合評価は、体力合計点をもとに、AからEまでの5段階で評定した体力の総合評価であります。Aが得点の高いほうであり、こちらの割合が高いということは、子ども

伊藤学校教育
課長

もたちの体力の総合評価の数値が高い子どもたちが多いということでもあります。

その下のグラフは、体力T得点であります。全国の平均値を50とした場合の北海道・江別市の相対的な位置を示すものであります。棒グラフが江別市の位置、ひし形が北海道の位置を示しております。

握力のように50よりも上にあるものは全国よりも上回っていることを、上体起こしのよう50よりも下にあるものは、全国よりも下回っていることを表しております。一番下のグラフは、上から2段目の表の総合評価をグラフ化したものであります。

5ページの小学5年生男子の結果についてであります。握力と立ち幅跳びが全国をやや上回り、ソフトボール投げが全国と同程度、その他の種目は下回っております。特に、20メートルシャトルランや反復横跳びが大きく下回っております。また、総合評価につきましても、A・B評価が全国と比較すると低くなっております。

6ページをご覧ください。小学5年生女子の結果についてであります。握力が全国を上回り、立ち幅跳び、ソフトボール投げが全国と同程度、その他の種目は下回っております。男子同様、20メートルシャトルランや反復横跳びが大きく下回っております。また、総合評価につきましても、男子と同様にA・B評価が低くなっております。

7ページをご覧ください。中学2年生男子の結果についてであります。握力が全国を上回り、上体起こし、立ち幅跳び、ハンドボール投げが全国と同程度、その他の種目は下回っております。20メートルシャトルランや反復横跳びが大きく下回っておりますが、20メートルシャトルランについては、平成25年度の江別市は73.94でしたが、平成26年には、83.87と大きく向上しております。また、総合評価につきましても、A・B評価が全国よりは若干低くなっております。

8ページをご覧ください。中学2年生女子の結果についてです。握力と持久走が全国を上回り、ハンドボール投げが全国と同程度、その他の種目は下回っております。特に、長座体前屈、20メートルシャトルラン、反復横跳びが大きく下回っております。20メートルシャトルランについては、男子と同様、平成25年度の江別市は48.62でしたが、平成26年には52.12と向上しております。

なお、持久走が全国より上回っておりますが、中学生においては、20メートルシャトルランか持久走を選択して実施することになっており、江別市では中学校1校が持久走を行った結果であり、江別市全体の結果ではないので注意が必要であります。

また、総合評価につきましても、A・B評価が全国よりは低くなっておりますが、全道よりは高くなっております。

次に、児童生徒質問紙の結果であります。9ページから10ページには小学生に対する質問紙の結果、11ページから12ページには中学生に対する質問紙の結果を記載しております。

9ページをご覧ください。一番上の四角で囲まれた部分は回答の状況で、全国平均と江別市平均との比較や、前年度の江別の平均との比較などを記載したものであります。

その下のグラフについては、上の四角で囲まれた中で説明した内容について、具体的な数値を明示するとともに、グラフ化しました。グラフの左側は男子の回答、右側が女子の回答であります。

質問紙調査のうち、運動習慣の状況であります。9ページの小学生では、運動が好き・やや好き、運動が得意・やや得意は全国と同程度であります。中学校で自主的に運動したいと思うと回答した児童が全国より多く、1週間の総運動時間でも全国を上回っております。家の人からの運動の進めはよくある・時々あるの回答が、全国より下回っております。

11ページをご覧ください。中学生では、小学生と同様に、運動が好き・やや好き、運動が得意・やや得意は全国と同程度であります。卒業後自主的に運動したいと思うと回答した生徒が全国より多く、1週間の総運動時間でも全国を上回っております。家の人からの運動の進めはよくある・時々あるの回答が、全国より下回っております。小学生・中学生ともに運動意欲はあり、運動時間が多いという結果であります。

質問紙調査のうち、体育の授業であります。10ページの小学生では、体育の授業は楽しい・やや楽しいは全国と同程度であります。体育の授業で振り返る活動があると思う・やや思うは全国より下回っております。

できるようになったきっかけでは、授業外に自分で練習したが全国より高く、友だちに

伊藤学校教育課長	<p>教えてもらったが全国より低くなっております。そのほかでは、先生や友達のまねをした、授業中に個別に先生に教えてもらったが多くなっております。</p> <p>12ページをご覧ください。中学生では、小学生と同様に、体育の授業は楽しい・やや楽しいは全国と同程度であります、体育の授業で振り返る活動があると思う・やや思うは全国より下回っております。</p> <p>できるようになったきっかけでは、男子では授業中自分で工夫したが全国より高く、友だちに教えてもらった、先生や友達のまねをしたが全国と同程度であります。女子では授業中に個別に先生に教えてもらった、先生や友達のまねをしたが全国より高く、友だちに教えてもらったが全国より低くなっております。</p> <p>次に、13ページをご覧ください。学校質問紙の調査の結果であります。一番上の四角に囲まれた部分は回答の状況で、全国平均と江別市平均との比較や、前年度の江別の平均との比較などを記載したものであります。</p> <p>その下のグラフについては、上の四角で囲まれた中で説明した内容について、具体的な数値を明示するとともに、グラフ化しました。グラフの左側は小学校の回答、右側が中学校の回答であります。</p> <p>体力の向上に関しては、小学校・中学校ともに体力・運動能力向上の目標設定をしている、体力・運動能力向上の取組をしている、運動時間の少ない児童・生徒への取組を行っているが全国より上回っており、学校が体力向上の取組を進めていることがうかがえます。</p> <p>14ページをご覧ください。生活習慣の改善と新体力テストに関してであります、生活習慣を改善する取組を行っている、家庭に運動の意義や実施について、説明や呼びかけを行うことがあるは全国を上回っております。</p> <p>新体力テストの実施年数では、小学校・中学校ともに6年間以上では、全国を下回っておりますが、新体力テストの実施学年では、小学校では全国を上回っており、中学校では同程度であります。</p> <p>江別市では、平成25年度から小学3年生以上は全種目実施を全小中学校に指導しており、今後、新体力テストの実施に児童生徒たちが慣れ、目標を持って取り組んでいくと考えております。</p> <p>続きまして、最後のページをご覧ください。江別市体力改善支援プランであります。</p> <p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果、明らかになった課題については、先ほどの調査結果の課題で説明したとおりであります。</p> <p>イにありますように、江別市の結果は小学生・中学生ともに、握力が全国を上回っておりますが、長座体前屈、反復横とび、20メートルシャトルラン、50メートル走などが全国より下回っており、柔軟性や敏捷性、筋持久力が低いことが課題であります。</p> <p>ウの児童生徒質問紙では、家の人からの運動の勧めが少ないことや、授業の目標やまとめについて、児童生徒の意識にあまり残っていないことが課題となっております。</p> <p>エの学校質問紙では、新体力テストの実施年数が全国より少なく、児童生徒になじみが少ないことなどが課題となっております。</p> <p>資料の下段、左側は問題解決に向けた学校の取組となっております。右側が、学校に対する教育委員会の支援であります。14項目列挙しております。現在実施しているものであり、今後も継続して実施をしていく予定であります。</p> <p>中でも、今後、新たに取組を進めるものとして、1番の学校の取組への支援では、②道教委が実施しているどさん子元気アップチャレンジへの参加の啓発と上位入賞者への表彰状・記念品の授与をしていきたいと考えております。</p> <p>また、3の人的・物的支援では、③にありますように運動の基本である走り方について学ぶ走り方教室を小学校で実施します。また、⑥にありますように、大麻小学校に配置されております体育専科教員のこれまでの活動の成果を、市内の小学校に普及するための研修会を実施していきたいと考えております。</p> <p>これら分析結果と支援プランについては、来月の校長会におきまして各学校に情報提供を行い、市教委と学校が連携・協力し、体力の向上の取組を進めてまいりたいと考えております。以上です。</p> <p>ただいま報告のありました平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、質問等がございましたらお受けします。</p>
長谷川委員長	

橋本委員	最後のページの教育委員会の支援で、エスポラーダ北海道と体力手帳というものはどう いうものなのでしょうか。
伊藤学校教育 課長	エスポラーダ北海道につきましては、フットサルのチームであり、北海道教育委員会から 派遣希望があれば派遣しています。平成26年度は、5校にエスポラーダの選手が来て、 フットサルを通して体力向上の取組を行っています。 実際にボールを持ってきて、子どもの人数分のボールを用意していただき、すべての子 どもがボールに触れるような形で練習したり、ゲーム形式で行ったりしています。 体力手帳につきましては、平成26年度におきまして、江別市で道教委からの委託を受け、 体力向上先導的総合実践事業の取組を進めております。その中で、道教委から体力 手帳という手帳が配布されました。 こちらは小学校1年生から中学校3年生までの9年間、身長、体重、体力テスト8種目 の実施結果を記入する手帳です。記入したあと、ご家庭に持ち帰っていただいて、家庭で 保護者と児童生徒が自分自身の体力の伸びを実感してもらいます。特に、小学校におきま しては、その結果を見て、保護者がコメントを書く欄がございまして、家庭での体力向上 の取組に使っていただくというものです。 今の小学校1年生は9年間使うこととなりますので、小学校から中学校に上がるときに は、学校間で引継ぎをしてもらうということになっております。以上です。
長谷川委員長 上野委員	ほかはいかがでしょうか。 質問ではありませんが、1週間の総運動時間を見ると、全国よりも相当運動しているわ りには、結果が低いということが初めて分かり、少しびっくりしました。
郷委員	体力テストの内容ですね。種目が、反復横跳びやシャトルランなど、少し馴染みのない ものですね。
上野委員 郷委員 橋本委員	馴染みはないけれども、これだけ体を使っていてというところがあります。 専門的なものは秀でたものがあるかもしれないですね。握力がありますね。 学校に対する質問で、授業以外の運動時間を確保していますかとあり、小学校は何とな くイメージがつきますが、中学校では運動時間の確保のため、どのように取り組んでいる のでしょうか。
伊藤学校教育 課長 橋本委員	小学校と中学校、共通して言えると思いますが、休み時間等に長縄跳びに取り組んだり、 生徒会、児童会を中心に行事を組んでいろいろな取組をしています。 そうすると、生徒が自主的に、例えば体育大会に向けて、みんなで長縄の練習をする ということで、先生方が休み時間に何かをしようということではないのですか。
伊藤学校教育 課長	小学校であれば、今言われたような形で、先生方もかなり取組ができるとありますが、 中学校では、授業と授業の間で時間を取ることはなかなか難しいので、体育大会の練習等 の中で行っているところです。
橋本委員 長谷川委員長	分かりました。 ほかはいかがでしょうか。ないようであれば、本報告については終了してよろしいで すか。 (一同了承)
岩淵生涯学習 課長	次に、報告事項(2)平成26年度江別市青少年文化賞・スポーツ賞及び教育委員会表 彰についての報告を求めます。岩淵生涯学習課長お願いします。 報告事項(2)平成26年度青少年文化賞・青少年スポーツ賞及び教育委員会表彰に係 る被表彰者の決定についてご報告申し上げます。 今年度の表彰に関する事績の対象期間は、平成26年1月1日から12月31日の1年 間としております。ただし、通算成績による場合は、3年前までとしております。 昨年の12月から今年1月20日までの推薦受付期間を設け、広報えべつでの掲載周知 のほか、各種団体、小中学校、高等学校、大学等に推薦依頼を行い、推薦のあった候補者 の事績内容等の確認作業をし、青少年文化賞及び青少年スポーツ賞につきましては、全国 規模の大会等で3位以内に相当する成績を収めた候補者及び通算2年以上入賞した候補 者を庁議において意見を伺った上で、市長決裁により最終決定しております。 また、青少年文化奨励賞、スポーツ奨励賞につきましては、全道規模の大会等で優勝、 またはそれに相当する成績を収めた候補者を、別途市長決裁により最終決定して おります。 さらに教育委員会表彰の文化部門、スポーツ部門の各賞につきましては、全道規模の大

岩淵生涯学習課長	<p>会等で2位、3位、またはそれに相当する成績を収めた候補者を、教育長決裁により最終決定しております。</p> <p>今回の受賞者につきましては、1ページに青少年文化賞の7個人2団体を、2ページに青少年スポーツ賞の7個人2団体を、3ページに青少年文化奨励賞の4個人を、4ページから5ページにかけて青少年スポーツ奨励賞の21個人8団体を掲載しております。</p> <p>また、6ページに、教育委員会表彰の文化部門の6個人4団体、7ページから8ページにかけて、スポーツ部門の17個人8団体を掲載しております。</p> <p>各賞及びそれぞれの受賞者の氏名、事績等の詳細につきましては、1ページから8ページに記載のとおりでありますので、ご参照いただきたいと存じます。</p> <p>また、年度別の受賞者数統計につきましては、9ページに参考資料として添付しておりますので、併せてご参照ください。</p> <p>なお、贈呈式につきましては、2月21日土曜日、午後1時から、えぼあホールにて執り行い、文化賞・スポーツ賞・文化奨励賞・スポーツ奨励賞につきましては市長から贈呈、教育委員会表彰につきましては、長谷川教育委員長から贈呈していただきました。以上です。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました平成26年度江別市青少年文化賞・スポーツ賞及び教育委員会表彰について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
岩淵生涯学習課長	<p>次に、報告事項(3)平成27年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画についての報告を求めます。岩淵生涯学習課長お願いします。</p> <p>報告事項(3)平成27年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画につきまして、ご説明申し上げます。</p> <p>平成27年度の事業計画につきましては、財団の理事会並びに評議員会の議決を得て、市に提出されたものであります。第24期事業計画の内容は、1ページから4ページに記載しております。</p> <p>初めに、資料の1ページの総括であります。財団は、市民皆スポーツをさらに推進するため、各種スポーツ教室及びスポーツ大会等を開催するとともに、市民体育館をはじめとする屋内体育施設を指定管理により、引き続き管理運営を実施するものであります。</p> <p>事業運営に当たっては、利用者の利便に立った弾力性のある運営とサービスの提供を図りながら、施設の利用を高めるとともに、利用者が満足感を得られるよう努めていくこととしております。</p> <p>また、3ページの5施設の管理運営事業(1)のイに記載の、江別市都市公園施設につきましても指定管理による管理運営を行うほか、(2)の受託事業として、屋外体育施設等の管理運営を行うこととしております。</p> <p>次に、4ページをご覧ください。自主事業の計画であります。「集まれちびっこ元気祭り」、「トレーニング室の早朝開放」、「親子で遊ぼう『わくわく広場』」の3事業を引き続き実施することとしております。</p> <p>次に、5ページをご覧ください。第2の平成27年度収支予定表、1の予定収支予算書につきましては、まず、収入の部では、1の基本財産運用収入7,000円は、基本財産3,000万円の定期預金の利息であります。</p> <p>次に、2の事業収入のうち、補助事業収入398万4,000円につきましては、スポーツ大会参加料、健康体力づくり受講料、スポーツ指導者養成講習会受講料であります。また、受託事業収入1,513万円につきましては、屋外体育施設等の受託に係る収入であります。</p> <p>次に、指定管理事業収入2億4,623万8,000円につきましては、屋内体育施設指定管理料、大麻集会所指定管理料、都市公園の屋外体育施設の指定管理料及びスポーツ教室受講料のほか、屋内体育施設利用料金、大麻集会所利用料金、都市公園の屋外体育施設の利用料金であります。</p> <p>3の補助金収入4,463万1,000円は、スポーツ大会開催事業、健康体力づくり指導相談事業、スポーツ指導者養成事業の実施に要する江別市からの補助金であります。</p> <p>4の雑収入304万6,000円は、預金の受取利息及び自動販売機設置手数料等であ</p>

岩渕生涯学習課長	ります。この結果、当期収入合計額は3億1,303万6,000円となるものであります。
長谷川委員長	次に、6ページをご覧ください。支出の部であります。1の補助事業費4,862万6,000円のうち、スポーツ大会開催に要する事業費が1,099万9,000円、健康体力づくり指導相談に要する事業費が291万4,000円、スポーツ指導者養成に要する事業費が25万9,000円、これらの事業に要する人件費などの管理費が3,445万4,000円であります。
上野委員	2の受託事業費1,445万5,000円のうち、屋外体育施設管理運営受託事業費が520万8,000円、大麻出張所管理運営受託事業費が649万6,000円、選挙事務開票会場設営管理等受託事業費が1万円、これらの事業に要する人件費などの管理費が274万1,000円であります。
岩渕生涯学習課長	3の指定管理運営費2億4,880万9,000円のうち、屋内体育施設の指定管理に要する管理運営費が1億2,837万円、大麻集会所管理運営費が447万2,000円、都市公園の屋外体育施設の管理運営費が501万円、これらの指定管理運営に要する人件費などの運営管理費が1億1,095万7,000円であります。
長谷川委員長 郷委員	4の自主事業費は、事業に係る経費109万6,000円であります。 5の予備費に5万円を計上し、その結果、当期支出合計額は、3億1,303万6,000円となるものであります。
岩渕生涯学習課長	7ページの予定正味財産増減計算書及び8ページの予定貸借対照表につきましては、それぞれ記載のとおりでありますので、ご参照いただきたいと存じます。以上です。
郷委員	ただいま報告のありました平成27年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画について、質問等がございましたらお受けします。
岩渕生涯学習課長	スポーツ教室開催事業としてたくさんありますが、前年と同じなのか、それとも新しいものが入っているのか教えてください。
長谷川委員長	事業としては、前年と同じで新規のものはございません。
伊藤学校教育課長	ほかはいかがでしょうか。 上野委員の質問と重複するところがあるんですけども、新規のものがないということで、定員数などはどうですか。人気があるとかないとか、定員がいっぱいだとか、そういったことは分かりますか。
岩渕生涯学習課長	スポーツ教室に関しましては、定員数も前年度と同じになっております。
長谷川委員長	定員を満たしているのか。それとも、30人定員のところに10名くらいしかいない教室があるのか。そういった参加率は分かりますか。
伊藤学校教育課長	今のご質問については、手元に資料がございませんので、別途ご報告したいと思います。
長谷川委員長	それでは、昨年の参加状況については、次回報告願います。
伊藤学校教育課長	ほかはいかがでしょうか。
伊藤学校教育課長	それでは、本報告については終了してよろしいですか。
伊藤学校教育課長	(一同了承)
伊藤学校教育課長	続いて、2の審議事項に入ります。
伊藤学校教育課長	平成27年議案第5号江別市立小学校及び中学校通学区域規則の一部を改正する規則の制定についての説明を求めます。伊藤学校教育課長お願いします。
伊藤学校教育課長	平成27年議案第5号江別市立小学校及び中学校通学区域規則の一部を改正する規則の制定についてご説明します。
岩渕生涯学習課長	1ページをご覧ください。1の改正理由であります。1として、平成26年第10回定例教育委員会の決定を受けまして、江別小学校と江別第三小学校の統合校となります。江別第一小学校の通学区域の変更につきまして、江別市立小学校及び中学校通学区域審議会に諮問したところ、別添資料にありますように、江別小学校と江別第三小学校の統合に関わる通学区域変更の答申について、平成27年1月13日付けで答申がありました。
伊藤学校教育課長	その答申に基づき、江別第一小学校の通学区域は、江別小学校と江別第三小学校と同区域に変更するものであります。
伊藤学校教育課長	(2)としまして、江陽中学校の通学区域が町名で表記されておりますが、他の中学校

伊藤学校教育課長	<p>の表記と同様に、校区の小学校名の表記に改正するものであります。その他文言の整理をするものであります。</p> <p>2の改正規則の内容につきましては、2ページから3ページに記載のとおりでございます。</p> <p>詳しくは新旧対照表に基づき説明いたしますので、4ページをご覧ください。</p> <p>ページの左側が改正前、右側が改正後であります。下線のある部分が、改正のあった箇所を示しております。左側の改正前の別表第1、1行目の学校名の江別小学校を、右側の改正後の学校名の江別第一小学校に改正します。</p> <p>通学区域については、左側の改正前の江別小学校と江別第三小学校の通学区域を合わせて、右側の改正後の江別第一小学校の通学区域に町名で記載しております。</p> <p>なお、町名の王子、一番町、弥生町は江別小学校と江別第三小学校に、それぞれ通学区域があったため、改正前は地番まで表示をしておりましたが、江別第一小学校ではこれらの町名がすべて江別第一小学校の通学区域になるため、表の右側の通学区域では町名のみとなっております。</p> <p>また、資料の5ページをご覧ください。左側の改正前の上から2行目の江別第三小学校は、右側の改正後では削除となります。</p> <p>次に、4ページに戻っていただき、左側の改正前の別表第一の上から2行目の学校名第二小学校を、右側の改正後のとおり江別第二小学校に改正します。これは、江別市立学校設置条例による名称に統一するためであります。</p> <p>次に、5ページをご覧ください。中学校については、江別小学校の区域からは江別第一中学校へ、江別第三小学校からは江別第三中学校に進学しております。</p> <p>中学校の通学区域については、変更はいたしません。別表第2の江別第一中学校については、従前から、江別小学校の校区に該当する町名・地番で表記しておりますので、改正いたしません。</p> <p>6ページをご覧ください。江別第三中学校については、次のように改正いたします。</p> <p>上から3行目、左側の改正前の江別第三中学校の通学区域は、江別第三小学校及び北光小学校及びいずみ野小学校と同区域となっておりますが、江別第三小学校が削除されるため、右側の改正後では、江別第三小学校の部分を、改正前の江別第三小学校の町名・地番を記載するように改正いたします。</p> <p>次に、左側の改正前の下から2行目、江陽中学校の通学区域が、町名で記載されておりますが、この町名は、校区内の小学校である豊幌小学校と江別太小学校のそれぞれの通学区域であることから、右側の改正後では、他の中学校が小学校名により表記しているのと同様に、豊幌小学校及び江別太小学校と同区域に改正します。</p> <p>他の下線の改正については、文言の整理と、別表中の学校名についています括弧を削除するものであります。</p>
長谷川委員長	<p>また、附則の中で、この規則は平成28年4月1日から施行することとしております。説明は以上です。ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたら、お受けいたします。(質疑なし)</p> <p>それでは、平成27年議案第5号江別市立小学校及び中学校通学区域規則の一部を改正する規則の制定についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>続いて、3のその他各課所管事項に入ります。</p> <p>(1) 中学生国際交流事業受入れについての説明を求めます。岩渕生涯学習課長お願いします。</p>
岩渕生涯学習課長	<p>中学生国際交流事業受入れについてご説明いたします。</p> <p>今年の中学生国際交流事業の受入れは、今月6日金曜日から15日日曜日までの11日間の予定でしたが、15日の帰国予定日が悪天候で飛行機の遅れなどがあり、翌16日月曜日の帰国となりました。また、引率の先生が転倒してけがをし、1週間の入院が必要となったため、先生は20日金曜日に帰国しております。</p> <p>今回の訪問団は、オレゴン州グresham市ゴードンラッセルミドルスクールの中学生6名、引率教諭1名の合計7名で、中学校での交流学習を中心とした学校生活の体験が行わ</p>

岩淵生涯学習課長	<p>れました。</p> <p>まず、6日は夜中に江別に到着後、旅館に一泊し、翌日の7日、ウェルカムパーティーのあと、生徒たちはそれぞれのホームステイ家庭へと参りました。</p> <p>9日から13日までは、中学校での体験入学をし、受入れ校である第二中学校、江陽中学校の生徒と同じ教科を学び、放課後には部活動に参加した子もいました。</p> <p>また、引率のクリスティン・ウィルソン先生は第二中学校、江陽中学校において、北米先住民のお守りの一つであるドリームキャッチャーの作り方を教え、実際に生徒たちと一緒に作る授業を行いました。</p> <p>受入れをお願いしました両校におきましては、英訳プリントの準備や日本文化に触れる機会を設けていただくなど、様々な協力をいただきました。</p> <p>14日の夕方には、ホストファミリーとのさよならパーティーを開き、グレシャムの生徒からお礼のメッセージを書いた色紙が手渡される場面があるなど、生徒と受入れ家庭のみなさんは別れを惜しんでいました。</p> <p>そして生徒たちは、予定より1日遅れの16日に、先生は20日に退院し、帰国いたしました。以上です。</p>
長谷川委員長	<p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p>
大村総務課長	<p>それでは、次に、次回定例教育委員会予定案件及び日程について説明願います。</p> <p>次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、平成27年第1回江別市議会定例会の一般質問について、第7期江別市社会教育総合計画の最終評価について、第4期江別市スポーツ振興計画の最終評価についてなどを予定しております。</p>
長谷川委員長	<p>また、次回、定例教育委員会の日程でございますが、3月30日月曜日、午後2時からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p> <p>今ありましたように、次回の定例教育委員会を3月30日月曜日、午後2時からということによろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>では、以上をもちまして、第2回定例教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>

終了 午後2時55分

署名人(委員長) 長谷川 清明

署 名 人 郷 早見